

# 2009年度 第3四半期 決算説明資料

株式会社太陽工機

2010年1月26日

# 将来予測について

◆当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、主に以下のものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

# 決算概要

# 第3四半期決算サマリー

## ■ 昨年度後半からの受注減少を受け、業績は大きく後退

- 売上高 791百万円(前年比 85.2%減)
- 営業損失 1,102百万円(前年同期 809百万円の利益)
- 経常損失 1,121百万円(前年同期 794百万円の利益)
- 当期純損失 1,252百万円(前年同期 451百万円の利益)

## ■ 受注: 第3四半期より着実に回復

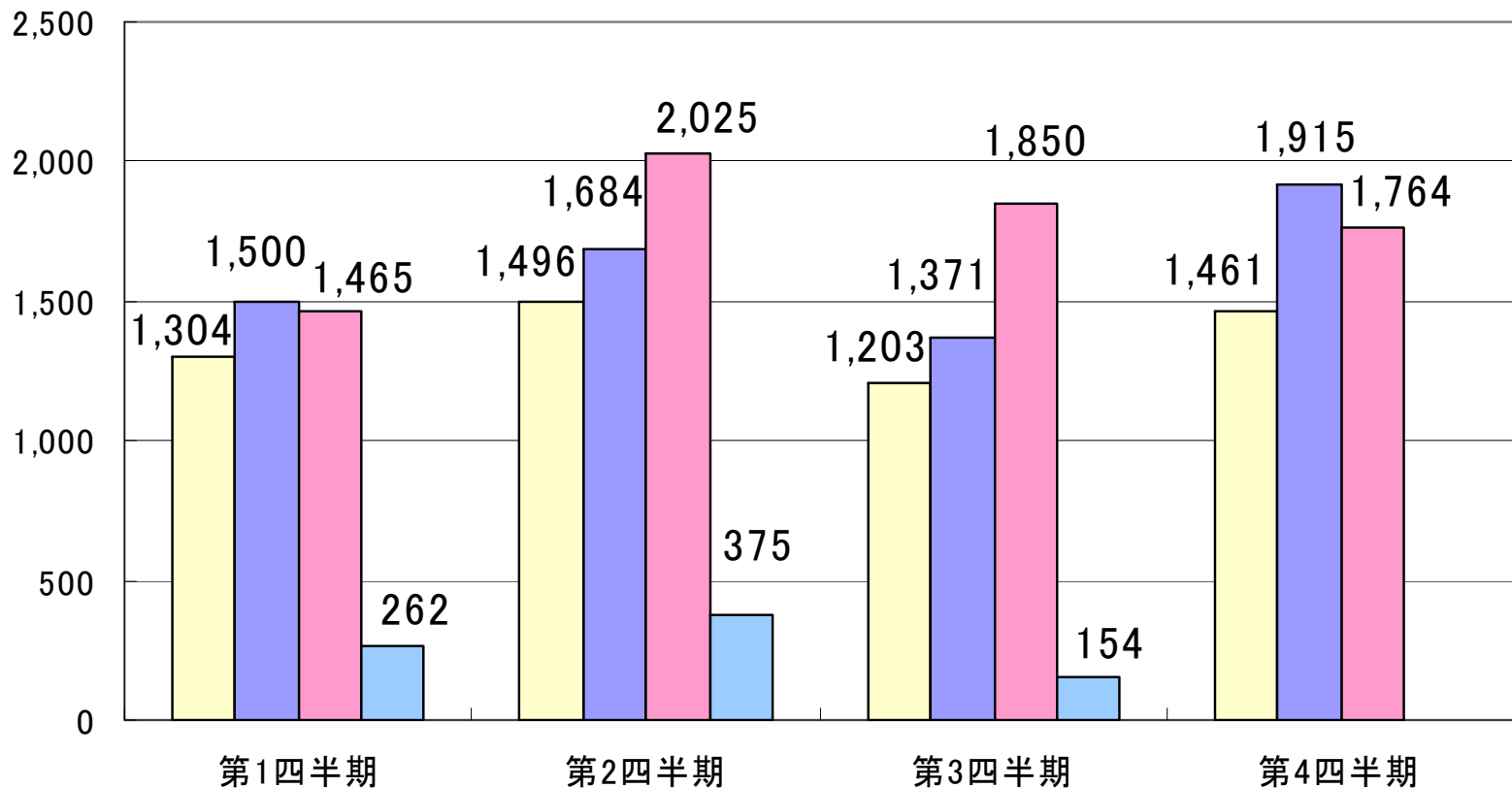
- 受注 1,266百万円(前年比 73.4%減)  
⇒ 一部の需要先に改善の兆しが見られる

# 損益計算書(P/L)

(百万円)	2008年度 第3四半期	2009年度 第3四半期		
	実績	実績	増減	対前年比
売上高	5,341	791	▲ 4,550	85.2 %減
営業利益	809	▲ 1,102	▲ 1,911	—
(売上高比率)	15.2%	—	—	—
経常利益	794	▲ 1,121	▲ 1,915	—
(売上高比率)	14.9%	—	—	—
税引前利益	797	▲ 1,124	▲ 1,921	—
当期利益	451	▲ 1,252	▲ 1,703	—

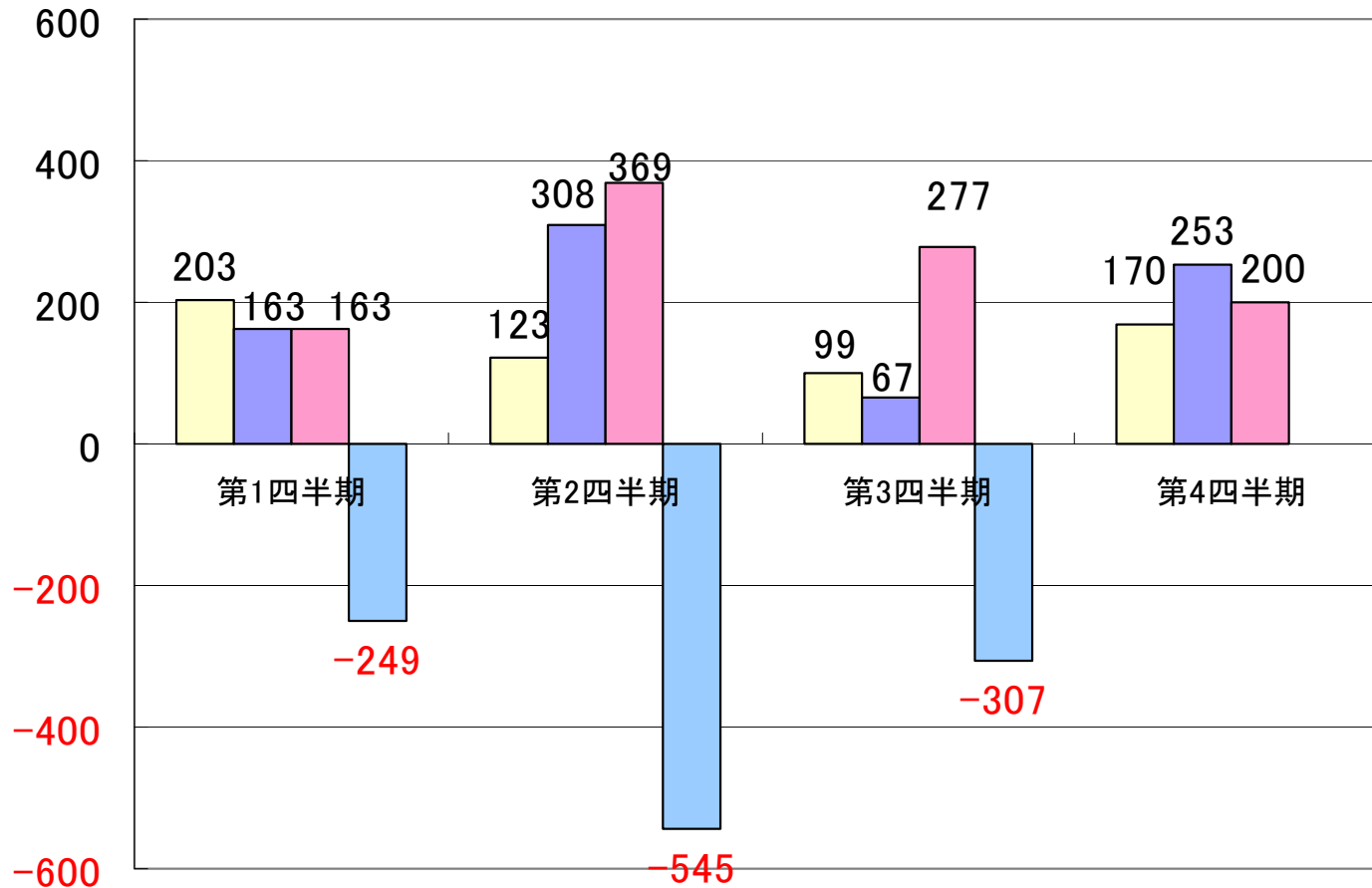
# 売上高(四半期別推移)

(百万円) □ 2006年度売上高 □ 2007年度売上高 □ 2008年度売上高 □ 2009年度売上高



# 営業利益(四半期別推移)

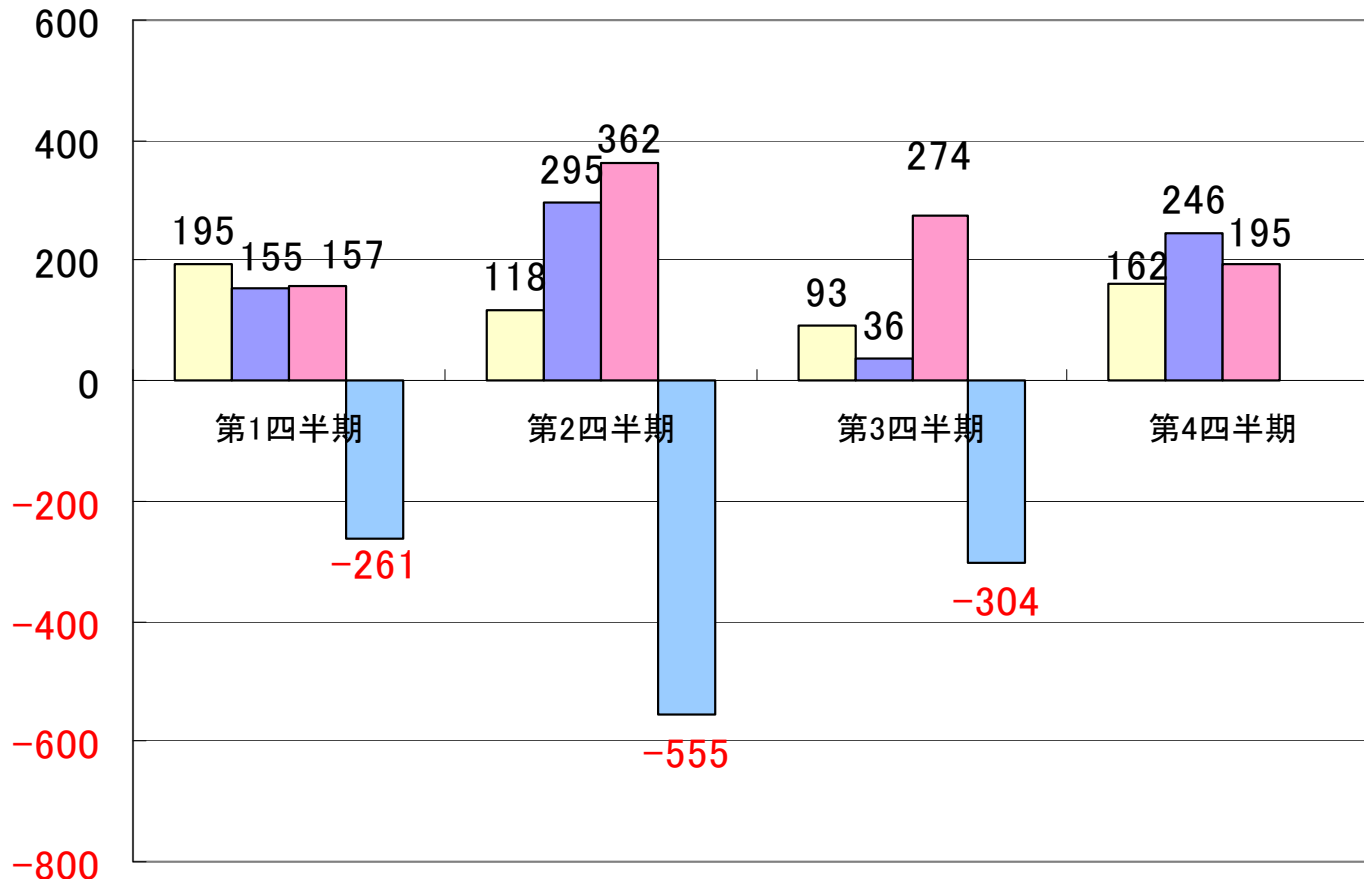
■ 2006年度営業利益 
 ■ 2007年度営業利益 
 ■ 2008年度営業利益 
 ■ 2009年度営業利益



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 7/20

# 経常利益(四半期別推移)

■ 2006年度経常利益 
 ■ 2007年度経常利益 
 ■ 2008年度経常利益 
 ■ 2009年度経常利益



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 8/20



# 原価率・販管費・株主資本比率

	2008年度 第3四半期 (会計期間)	2008年度 通期	2009年度 第1四半期 (会計期間)	2009年度 第2四半期 (会計期間)	2009年度 第3四半期 (会計期間)
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	70.2% 1,300	71.7% 5,096	75.6% 198	164.5% 617	122.7% 187
販売管理费率 (下段は販売管理費: 百万円)	14.8% 273	14.1% 999	119.7% 313	80.9% 303	177.8% 273
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	68.0% 2,611	70.1% 2,665	53.8% 2,242	57.0% 1,674	45.8% 1,363

- 売上高原価率 ⇒ 売上減少により悪化。
- 販売管理費 ⇒ 賞与等の固定費見直しにより減少。

# 貸借対照表(B/S)

(百万円)	2008年度		2009年度 第3四半期		(百万円)	2008年度		2009年度 第3四半期	
	3月31日実績		12月31日実績	増減		3月31日実績		12月31日実績	増減
<b>資産の部</b>					<b>負債純資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	3,173		1,445	▲ 1,728	<b>流動負債</b>	1,125	605	▲ 520	
現金及び預金	1,266		269	▲ 997	買掛金	48	103	55	
売掛金	1,064		72	▲ 992	短期借入金	498	300	▲ 198	
棚卸資産	705		886	181	製品保証引当金	107	23	▲ 84	
その他	136		215	79	その他流動負債	471	177	▲ 294	
<b>固定資産</b>	630		1,530	900	<b>固定負債</b>	5	993	988	
建物・構築物	70		1,004	934	長期借入金	—	—	—	
機械・設備・その他	125		112	▲ 13	リース債務	5	929	924	
土地	357		356	▲ 1	その他固定負債	—	63	63	
無形固定資産	44		37	▲ 7	<b>純資産</b>	2,672	1,377	▲ 1,295	
投資その他資産	32		18	▲ 14	株主資本	2,665	1,363	▲ 1,302	
<b>資産合計</b>	<b>3,803</b>		<b>2,975</b>	<b>▲ 828</b>	新株予約権	7	13	6	
					<b>負債純資産合計</b>	<b>3,803</b>	<b>2,975</b>	<b>▲ 828</b>	

- **流動資産** ⇒ 売上減少により現預金・売掛金が減少。
- **固定資産・固定負債** ⇒ 新工場建設(5月)により増加。
- **株主資本** ⇒ 当期利益マイナスにより純資産減少。

# キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)	2008年度 中間期	2008年度 第3四半期	2008年度 通期	2009年度 中間期	2009年度 第3四半期
営業活動によるCF	298	706	1,293	▲ 439	▲ 709
投資活動によるCF	▲ 116	▲ 85	▲ 150	▲ 25	32
財務活動によるCF	▲ 249	▲ 249	▲ 301	▲ 561	▲ 277
現金および同等物の増減額	▲ 67	370	842	▲ 1,026	▲ 954
現金および同等物の期首残高	299	299	299	1,141	1,141
現金および同等物の期末残高	232	670	1,141	115	187

- **営業活動** ⇒ 売上減少により、マイナスのフロー。
- **財務活動** ⇒ リース債務返済により、マイナスのフロー。

# 回転期間

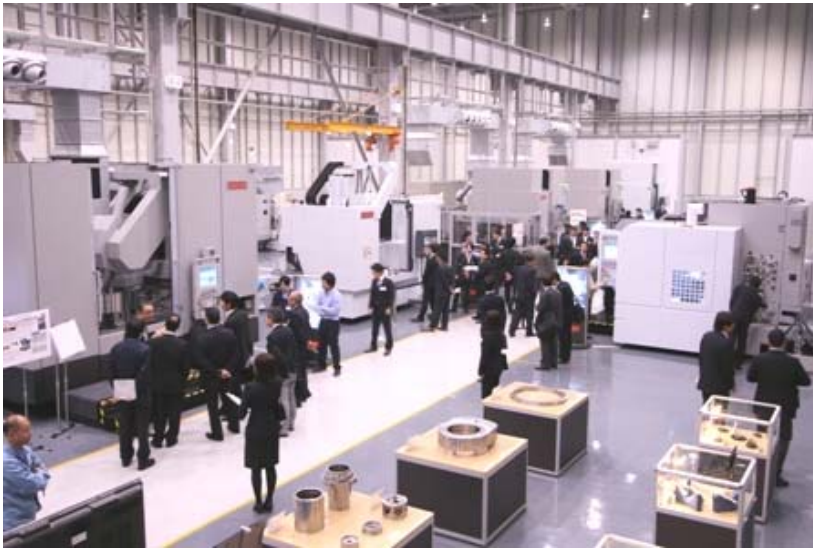
	2008年度	2009年度	
	第3四半期	第3四半期	増減
売上債権回転期間	1.61	0.83	▲ 0.78 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.21	10.09	7.88 ヶ月
仕入債務回転期間	0.44	1.18	0.74 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	0.95	16.77	15.82 ヶ月
借入金回転期間	0.84	3.41	2.57 ヶ月

- 棚卸資産回転期間: 数値悪化は主に売上減少によるもの。
- 固定資産回転期間: 新工場建設に伴い有形固定資産が増加。
- 借入金回転期間 : 第3四半期に再度借入実施。

# トピックス

# 展示会出展状況

- 太陽工機 プライベートショー(11/27 ~ 28開催)  
今年7月に引き続き開催。



# 今後の展開

# 業績予想の修正(1月26日)

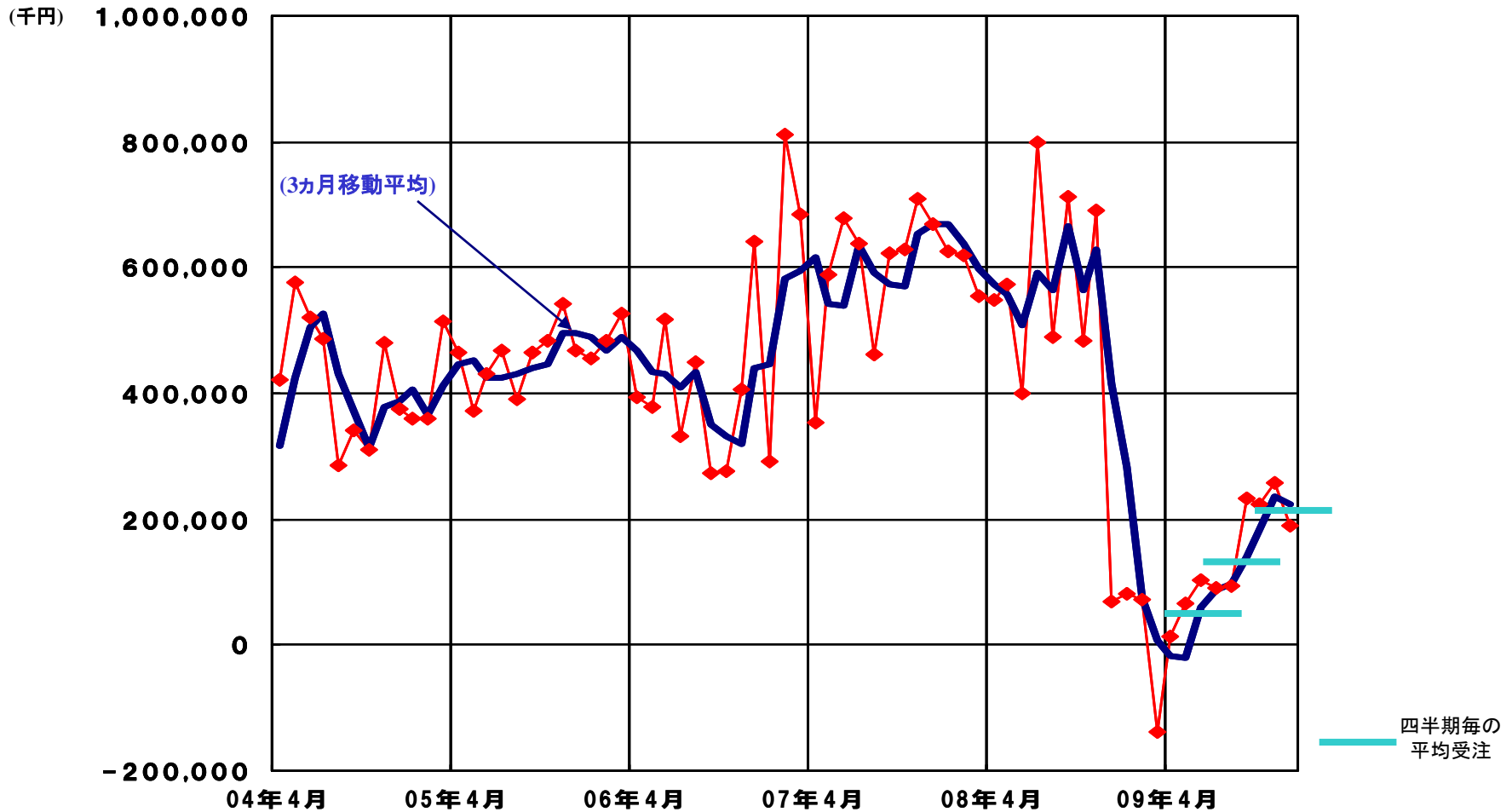
(百万円)	2008年度		2009年度 予想			
	上半期	通期	中間期	通期		増減
	実績	実績	実績	修正前	修正後	
売上高	3,490	7,106	637	1,500	1,500	0
営業利益	532	1,010	▲ 795	▲ 1,300	▲ 1,300	0
(売上高比率)	15.3%	14.2%	—	—	—	—
経常利益	520	990	▲ 817	▲ 1,300	▲ 1,300	0
(売上高比率)	14.9%	13.9%	—	—	—	—
税引前利益	521	991	▲ 820	—	—	—
当期利益	291	554	▲ 947	▲ 1,400	▲ 1,600	▲ 200

## ■ 修正の理由

早期退職者優遇制度の実施にともない、特別損失の計上を見込むもの。



# 受注高の推移



■ 2009年3月に底入れし、回復基調。着実なステージアップを目指す。

# 今後の展開

## 営業展開

### ■海外マーケット開拓

- **欧州市場** ⇒ パリに駐在員3名の拠点を設置(森精機製作所テクニカルセンタ内)、開拓を進める。
- **アジア市場** ⇒ 中国・インド地域をターゲットに建機・エネルギーに攻勢。中国へはエンジニアを追加派遣し、開拓強化。(1名→2名)
- **北米市場** ⇒ シカゴ駐在のエンジニアを中心に当社技術の普及を図る。

## 製品開発

### ■新規市場に向けた製品開発

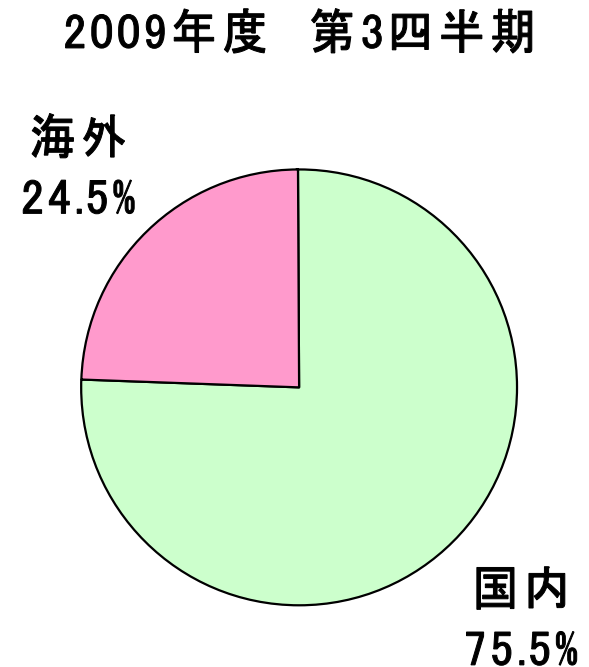
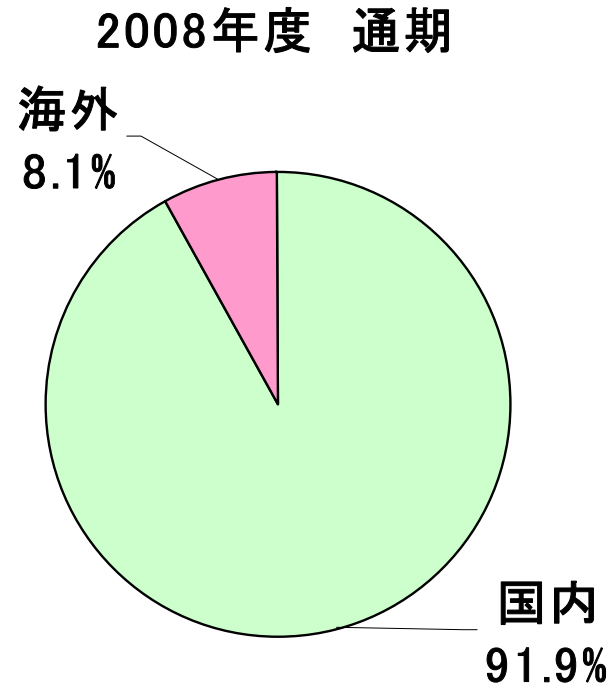
- オールマイティな**小型機**の開発に注力。2010年に2機種投入予定。
- 対話機能の開発による操作性の向上など**アプリケーションソフトの充実**を図る。

## コスト削減

### ■原価削減・固定費削減を中心に収益の確保を図る。

- 設計プロセスの見直しも含めた大胆な原価コストダウンに取り組む。
- 労務コストを中心とした固定費の最適化により収益体質を強化する。

# 海外受注比率



- 海外展開の施策が奏功し、海外比率が上昇。

## お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>